

## 鎌倉市スマートシティ 令和5年度事業計画

## ○取組方針

スマートシティ構想に掲げた「市民参加型スマートシティ」の実現を目指し、スマートシティ官民研究会及び庁内検討委員会の活動を促進することで、官民共創のスマートシティサービスの創出及びオープンデータの拡充を進め、令和4年度に整備を開始した持続可能な共生社会を支える産官学民共創の基盤「データ連携基盤」及び「市民参加型共創プラットフォーム」の実装を進める。

なお、令和6年度当初予算の編成に向けて、デジタル田園都市国家構想交付金 Type 2（データ連携基盤活用型）、Type 3（マイナンバーカード高度利用型）への申請準備を進める。

## ○柱1 市民参加型共創プラットフォーム

## 《これまでの取組》

令和4年9月	契約締結 事業者：(株)Liquidous 製品名：Liqlid オンライン共創プラットフォーム利活用部会発足
令和4年10月	庁内試験運用：広報に関する施策検討「伝える」から「伝わる」広報へ
令和4年11月	西鎌倉地域での試験運用開始
令和4年11月7日～	オンライン意見募集① 西鎌倉地域の「魅力」と「課題」
令和4年11月19日	対面ワークショップ① @西鎌倉みんなの家 8名参加
令和4年12月12日～	オンライン意見募集② 「出かけやすくなる改善策」
令和5年1月14日	対面ワークショップ② @腰越行政センター 20名参加
令和5年2月3日～	オンライン意見募集③ 「外出の目的の充実のためにできること」
令和5年3月11日	中間報告会「これまでの振り返りと今後の展望」 @オンライン 約30名参加 ※令和5年3月15日アーカイブ動画配信 216回視聴（3月22日現在）

○令和5年3月17日現在 アカウント登録者数 409名 意見投稿数 738件

## 《これからの取組》

- 1 地域の課題解決に向けた運用（共創）
  - プロジェクトフェーズ（西鎌倉地域での運用） テーマ：地域内の移動
  - アイデアフェーズ（西鎌倉地域以外での運用） テーマ：防災・減災
- 2 データ連携基盤及びスマートシティ官民研究会等との一体的な運用
  - オープンデータ等を利活用した市民参加型イベントの開催（市民等が課題の解決策を考える場）
  - 様々な主体が関与して持続可能な取組を実現（企業、大学、行政が課題の解決策を考える場）
- 3 政策形成に向けた運用（広聴機能の強化・合意形成）
  - 令和5年度に各計画、構想等の策定案件について、市民対話を伴走支援

## ○柱2 データ連携基盤の整備・オープンデータの拡充

### 《これまでの取組》

令和4年7月	総務省「令和4年度地域課題解決のためのスマートシティ推進事業」交付決定	
令和4年9月	契約締結 事業者：富士通 Japan(株) 製品名：シティプラットフォーム	
令和4年11月	テスト環境構築開始	
令和5年1月23日	スマートシティ連続講座 「データの利活用とオープンデータ」	
令和5年2月15日	官民研究会会員向け「データ連携基盤を知る・考えるワークショップ」	21名参加
令和5年3月20日	官民研究会会員向け「データ連携基盤を体験するハンズオン研修」	9名参加

### 《これからの取組》

#### 1 官民によるデータ利活用の促進

##### ○ユースケース創出に向けた取組（モデル事業の組成・実施）

ピッチイベント、アイデアソン、ハッカソン、市民参加型共創プラットフォーム及びスマートシティ官民研究会等との一体的運用

#### 2 行政データの整備

##### ○オープンデータの拡充

スマートシティ庁内検討委員会での調整、スマートシティ連続講座

#### 3 データ流通プラットフォームの構築（取引条件、仲介機能）

##### ○提供者の課題と利用者のニーズの把握

##### ○データ流通・利活用のケーススタディ事業の実施やルールの整備等

## ○柱3 官民協業のユースケース等の創出とスマートシティサービスの実証

### 《これまでの取組》

#### 1 鎌倉市スマートシティ官民研究会

##### ○会議・ワークショップ

令和4年7月20日 第1回全体会 パートナー会員の選定等/令和4年度事業計画

令和4年11月28日 第2回全体会 パートナー会員の追加選定等/進捗報告/講演

令和5年1月20日 ワークショップ 鎌倉市の人流分析と可視化

令和5年2月15日 ワークショップ データ連携基盤を知る・考える

令和5年3月20日 ハンズオン研修 データ連携基盤を体験する

##### ○ユースケース創出に向けた取組（モデル事業の組成・実施）【再掲】

令和5年1月31日 市、(株)バカン、富士フィルムシステムサービス(株)との協定を締結

内容：避難所の開設から閉鎖までのプロセスや課題の可視化とデジタル活用の検討

##### ○会員数 令和5年3月9日現在 一般会員168団体/パートナー会員8団体

#### 2 鎌倉市スマートシティ庁内検討委員会

##### ○会議

令和4年5月20日 第1回 臨時委員の設置/講話/令和4年度事業計画/部会の設置

令和4年11月8日 第2回 デジ田構想交付金/進捗報告/臨時委員の追加設置/講話

○個別検討部会の設置・検討

①防災・減災、②交通・混雑、③オンライン共創プラットフォーム

○デジタル田園都市国家構想交付金（令和4年度第2次補正予算）の採択

デジタル実装タイプ優良モデル導入支援型（Type1）に採択：書かない窓口 2,391千円

#### 《これからの取組》

---

##### 1 官民共創による推進体制の強化

○鎌倉市スマートシティ官民研究会及び庁内検討委員会における連携促進（会議、ワークショップ）

○ユースケース創出に向けた取組（モデル事業の組成・実施）【再掲】

ピッチイベント、アイデアソン、ハッカソン、データ連携基盤及び市民参加型共創プラットフォームとの一体的運用

#### ○柱4 戦略的広報・人材育成、調査・研究の推進

#### 《これまでの取組》

---

##### 1 公式note（スマートシティプロジェクト）による継続的な情報発信

○令和4年4月から通算10本の記事を投稿

##### 2 庁内職員向けスマートシティ連続講座の実施

○令和5年1月18日 Well-Beingとまちづく 18名参加

○令和5年1月23日 データの利活用とオープンデータ 28名参加

○令和5年1月24日 マイナンバーカードの普及と利活用推進 24名参加

※当日のアーカイブ動画は、desknetsNEOのインフォメーションに掲載

##### 3 FabCityの推進

○令和4年9月～11月 展示会～FABってなんだろう？～（市役所本庁舎、鎌倉リビングラボDAY）

○令和4年10月22日 FAB CITY WORKSHOP～3Dプリンタで何ができる？～ 40名参加

#### 《これからの取組》

---

##### 1 公式note（スマートシティプロジェクト）による継続的な情報発信

○市民参加型共創プラットフォームや官民研究会等の取組の記事投稿（年間12本）

##### 2 スマートシティ連続講座（庁内職員向け）

○4半期に1回程度実施し、庁内の参加者を拡大

テーマ：オープンデータ、市民参加型共創プラットフォーム、FabCity、Well-Being等

##### 3 FabCityの推進

○Fabに触れる機会の創出（出張Fab体験会等、Fabに気軽に触れられる場づくり）

○大学と連携したFabによる課題解決の事例づくり（文化財の3Dデータ保存、3Dプリンタで再現）

○FabCityを推進していくためのネットワークの検討